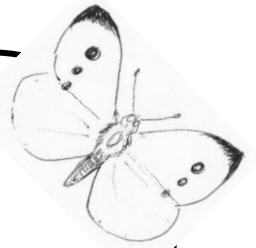


蝶プロのお手伝いに来てくれていた二人のお兄さんたちが、それぞれ高校や大学を卒業しました。

これからは、あまり活動に参加できなくなりますが、高校生のお兄さんから、お便りが届きました。

蝶のりんぷん

奥岸 諒



春といえば蝶の季節ですね。

皆さんの中には蝶を捕りたいという人もいないのでしょうか？

ところで皆さんはなぜ蝶が好きなのでしょう。多くの方はきれいだからと答えると思います。それではなぜ蝶はきれいなのでしょうか。

蝶にはりんぷんという小さい粉がついています。これには、水を弾いたり、動物に食べられないように地味な色だったり、目の形をした模様だったりさらに空を飛ぶために空気の抵抗を少なくする役目があります。

次に、何でりんぷんがきれいなのかというと、りんぷんにはキチンというカニのこうらにも使われている硬いものと色々な色素がまざって、それが私たち人間には、色がついているように見えるからなのです。

しかし、ここでアゲハチョウを例に出してみましよう。幼虫のときは緑色なのに、成虫になると黒や赤、青などのりんぷんが並んでいます。これはいつ変わったのでしょうか。

実はりんぷんはサナギの内側の細胞という小さいつぶが集まってできています。幼虫はサナギの中で一度どろどろに溶けて内側の細胞をけずりながら成虫になっていきます。

つまり、成虫になって一度りんぷんが失われたらもう戻らないということです。そうすると、もう二度と空を飛べないし、そのまま虫に食べられてしまうことがほとんどです。これから皆さんが蝶を捕るときはこのことを思い出して、やさしく蝶を捕まえてくれるとうれしいです。



蝶プロに参加してくれる卒業生のお兄さん、お姉さんを募集中です。

チョウの目撃情報のほか、活動の感想や質問も待っています。



『南つく蝶プロジェクト』で検索してね。 <http://butterflygarden.sunnyday.jp/>

活動報告やチョウレポートなどを公開しています。昨年度の活動報告もありますので、参考にしてください。